

季節巡り夏から秋へとバトンが渡されていく時期を迎えています。

今月も皆さんの頑張りが、てのひらのチームをさらに強めてくれていることにとっても頼もしく思っています。

私は皆様の頑張りを励みに「ホームホスピス設立」に日夜奮闘しています。

新たなことを始めるにあたって「初心」にかえり「看護覚え書き」を学び直しているこの頃です。



今回はナイチンゲールの言葉を一部を紹介させていただきます。

①人生を生き抜くには修練が必要です

②私たちは看護師として人間とは何か、人はいかに生きるかをいつも問いただし、何度も立ち返ることが必要です

③人を愛するには相手の魂に向かって旅をしなければならない

これらのメッセージを私の心の薬箱に大事にしまっています。  
自分自身の心が痛んだ時、そっと読み返しています。



私たちが日々関わらせていただいているご利用者様も身体的な痛みはもちろんのこと、心の痛みを抱えながら日々過ごされていることと想像します。

ナイチンゲールは「病気でなく病人を見る」と言い続けておられるように、私たちはその一人ひとりの方の人生に寄り添い、歩んでこられた過去(歴史、物語)を大切にする看護師であり、セラピストでありたいものと願っています。

てのひらの掲げている「看とり心」を一人ひとりの職員が大切にしてくれている事に感謝いたします。

最後に、

てのひらのご利用者様の土居瑞様が先日「どうか心地よく過ごせるように助けをもらいたい」と切におっしゃっておられました。「心地よい」の言葉が響きました。

私たちもご利用者様もお互い心地よいものを求めているのですね。



今月もお疲れ様でした。

追伸 ☆美味しいものを食べて心地よい場所を今回てのひらが準備したいと思っておりますよお～  
スタッフの笑顔がパワーになります。

2022年11月10日

呉静恵 